

**ゆうゆうクラブ**  
**平成30年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			遊び方や活動内容によって過ごす場所を1階と2階でスペース分けしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用者の障がい特性に応じて配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		トイレ、階段には手すりが付いている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		ミーティングで振り返りの機会を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果をもとに、職員で話し合う機会を設けた。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	研修を受講し、検討中である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			常勤は2ヶ月に1回、非常勤も含めた全体研修は年2回行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者と直接関わっている職員から状況等を聞き取り、アセスメントを行い、支援計画に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		写真、カードを活用し意思確認を続け、徐々に活用の幅を広げている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		それぞれの担当者が立案し、活動に取り入れている。イベントはチームで立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合わせたイベントを取り入れたり、色々な種類の活動を設けている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		半年ごとに課題の設定はしているが平日、休日、長期休暇では決めていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			皆で集まって行う活動と、個別で自由に過ごす時間とで分けて作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始30分前に集まって、最近の利用者の様子や活動の流れなどを確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎終了後に職員が戻ってくる時間がバラバラなので、打ち合わせの時間を設けるのは難しいため、ノートで情報共有している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援後、担当利用者の様子や気付きなどをノートに書き、それに基づいて打ち合わせをしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、職員間で見直しを行った後、保護者と面談を行いモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		個別の活動と集団の活動を実施している。地域交流については少々課題が残る。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に、児童発達支援管理責任者が出席している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校からも積極的に下校時間のお知らせをもらったり、イベントのお誘いをいただく。連絡調整は事業所の責任者が行い、トラブルについては早期連絡を心掛けている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		該当利用者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		中学生、高校生を対象にサービスを行っている為、就学前に利用していた事業所との連携はないが、相談事業所や併用している事業所とは連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターによる研修や会議に出席している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流する機会は設けられていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			年2回～3回参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎えに来た保護者には直接口頭で様子を伝え合い、送迎を利用している利用者の保護者とは連絡帳で伝え合っている。又、電話も用いて状況を伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談の時など、相談があった場合、一緒に考えアドバイス出来るよう心掛けている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			年度の契約時、年2回の面談を通して説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった場合は誠意を持って対応し、必要に応じて上司と相談して支援を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の連携の支援は今は出来ない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を受けた場合は迅速に対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人の取り組みとして年3回広報誌を発行している。活動内容は、利用希望表に記載して事前に掲示している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			利用保護者、職員それぞれ同意書を交わし、日頃のミーティングから話題を出して検討し合っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がいのある子どもには会話の他、ジェスチャー、写真などを用いて利用者に必要な伝達を行っている。又、学校や保護者との会話がなるべくご本人に伝わらないよう配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の行事に参加することはあるが、地域住民を招待する行事を行ったことはない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		研修で知識を学び、マニュアル化しているものとしていないものがある。感染症については、法人の取り組みとして保護者まで周知している。また、職場内にも掲示し、活動中でも全員が見られるようにしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な言川練を行っているか	○			年2回各事業所で訓練を実施している。又、近隣消防署員による救命講習も毎年受けている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			活動中、見える所に虐待防止に関する案内を掲示したり定期的に法人内研修も実施されている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束については、保護者面談で説明をして同意書を交わしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取り、又は指示に基づき食べ物アレルギーの有無を把握し、気を付けているが、医師の指示書までは対応していない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			月1回の事業所内の会議時に必ずヒヤリハットの事例を振り返り、内容の共有や今後の対応策を話し合っている。